

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

介護過程		冊数	1冊
発行者の略称・教科書の番号	実教706		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【福祉の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【介護過程の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護過程の展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 介護過程について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 自介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【介護過程の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
目標に示す資質・能力を身に付けることができるよう、次の〔指導項目〕を指導する。 〔指導項目〕 (1) 介護過程の意義と役割 (2) 介護過程の展開 ア 情報収集とアセスメント イ 生活課題と目標設定 ウ 介護計画の立案 エ 介護計画の実施と評価 (3) 介護過程の実践的展開 (4) 介護過程のチームアプローチ ア 介護過程とチームアプローチの意義 イ 介護過程とチームアプローチの実際	(1) 内容を取り扱う際には、次の事項に配慮するものとする。 ア 介護過程に関する事象を、人間の尊厳、自立生活の支援、多職種協働、国際生活機能分類の視点から捉え、生活の継続性に配慮した支援の在り方と関連付けて指導すること。 イ 実践的・体験的な学習活動を通して、介護過程の展開を実践する専門職としての生徒の意識が高まるよう工夫して指導すること。 (2) 内容の範囲や程度については、次の事項に配慮するものとする。 ア 〔指導項目〕の(1)については、サービス利用者に応じた適切な介護の提供には介護過程が必要なこと及び介護過程の一連の流れについて扱うこと。 イ 〔指導項目〕の(2)については、将来の自立に向けた生活課題の解決及び目標の設定、サービス利用者の希望を尊重した介護計画の立案など介護過程の要素や介護従事者として必要な視点及び能力について扱うこと。 ウ 〔指導項目〕の(3)については、(2)と関連付けて具体的に扱うこと。また、各種メディア教材を活用し、具体的な事例に基づき演習を行うとともに、介護活動における記録についても扱うこと。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
	エ 指導項目の(4)のアについては、チームの組み方や進め方についても扱うこと。イについては、具体的な事例を通して、チームアプローチの展開の演習などを行う。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第3章第8節第3款1(1)
b 地域福祉や福祉社会に関わる内容	学習指導要領第3章第8節第1款
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

- ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る

b 地域福祉や福祉社会に関わる内容

- ・ 各単元において、地域社会や福祉社会に関わる内容を見取る

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック、パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

- ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」言及されているため、介護過程では、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。

b 地域福祉や福祉社会に関わる内容

- ・ 学習指導要領では、福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成することが目指すとあるため、地域福祉や福祉社会と関連付けられている項目・題材について調査する。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別

役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	福祉
科目名	介護過程

発行者（略称）	実教
教科書番号	福祉706◆
教科書名	介護過程
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【介護過程の意義と役割】	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護過程の意義と目的」の単元で、図を活用することにより、介護過程の意義と目的について理解が深まるよう工夫されている。 ・「介護過程とICF（国際生活機能分類）」の単元で、ICFの概念図を示すとともに、コラムにおいて言語的コミュニケーションのみに頼らず、利用者のこれまでの暮らしを想像し潜在化された思いを理解しようとする大切さについて理解が深まるよう工夫されている。
【介護過程の展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・「アセスメントとは」及び「情報収集」の単元で、図や関連する資料を活用することにより、アセスメントの意義と目的、方法及びICFを活用した情報収集について理解が深まる構成になっている。 ・「介護目標と具体的な支援内容・支援方法の設定の実際」の単元で、事例を基に介護目標及び具体的な支援内容・支援方法について考察したり、グループで話し合ったりすることにより、内容の理解が深まるよう工夫されている。
【介護過程の実践的展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・「アセスメントの情報収集の実際」の単元で、事例と表を活用することにより、ICFの視点を活用したアセスメントの情報収集の方法について理解が深まるよう工夫されている。 ・「医療的ケアが必要な利用者の介護過程の事例（障害者支援施設）」の単元で、事例を活用することにより、介護計画の評価について理解が深まるよう工夫されている。
【介護過程のチームアプローチ】	<ul style="list-style-type: none"> ・「チームアプローチの必要性」の単元で、図を活用することにより、各専門職の業務やチームアプローチの必要性について理解が深まるよう工夫されている。 ・「多職種連携と地域ケア」の単元で、図を活用することにより、多職種連携と地域ケアの必要性について理解が深まるよう工夫されている。
b 地域福祉や福祉社会に関わる内容	
【介護過程の意義と役割】	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護の目的と基本原理」の単元で、介護保険法や社会福祉法に関する説明を通じて、尊厳の保持や自立支援などの福祉社会における介護の目的について理解が深まる構成になっている。
【介護過程の展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護計画の意義と目的」の単元で、介護職と他の専門職との連携の例を通して、利用者に対する効果的なサービスの提供の在り方について考察し、他職種連携について理解できる内容となっている。
【介護過程の実践的展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅復帰を望む利用者の介護過程の事例（介護老人保健施設）」の単元で、施設での支援内容や他の利用者との交流を含めた計画の事例を通して、アセスメントと介護計画の立案における、在宅での生活を可能にするための支援の在り方について理解できる内容となっている。 ・「医療的ケアが必要な利用者の介護過程の事例（障害者支援施設）」の単元で、介護計画の評価において、介護職チームと利用者の意識の差異について振り返る事例を通して、介護職チームや専門職と地域福祉との関わりについて理解できる内容となっている。
【介護過程のチームアプローチ】	<ul style="list-style-type: none"> ・「多職種連携と地域ケア」の単元で、図を活用した地域統括ケアシステムについての説明を通して、地域ケアについて理解できる内容となっている。 ・「在宅介護におけるチームアプローチ」の単元で、図を活用した説明や在宅介護におけるチームアプローチの例などを通して、各専門職と地域福祉との関わりについての理解できる内容となっている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者が歩んできた時代や文化を理解しよう」
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。